

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童通所支援センター クオレ文京台

公表日 2025年1月20日

利用児童数 9人

回収数 4

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3			1		配置基準は10名に対し4人ですが、基準に加え1~2人多く配置しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3			1		お子さんが安心して活動出来るよう環境づくりに努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4					活動空間は毎日清掃し、消毒等に努めております。また、活動に合わせて部屋を変える等の対応をしています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3			1		国で定めるガイドラインは「5領域」ですが、クオレでは「7領域」で細分化された支援を心がけています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3			1		季節や文化を感じる活動を取り入れています。
保護者 への 説明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3		1			幼稚園や保育園と平行利用のお子さんが主のため、事業所主体の交流はありません。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1		2	1		ペアレントトレーニングは実施していませんが、ご相談やご希望があれば都度対応いたします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	4					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3		1		送迎の際にお話しています	定期的な保護者面談は行っていませんが、連絡帳や送迎時にご相談があれば都度対応しています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。			4			現在父母の会や交流会は行っておりません。ニーズに応じて検討いたします。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3			1		保護者からの相談や面談のご希望があれば、都度面談を設け対応しています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2		1	1		自己評価の結果や、普段の活動内容をSNSやお便りに不定期で発信しています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					個人情報には鍵付きのロッカーに保管し、取り扱っています。また、契約時に個人情報の取り扱いについて説明、同意を得ています。	
非常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2			2		契約時に緊急対応マニュアルを画面にて説明、お渡ししています。また、定期的に避難訓練や消防署の指導を受けています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			2		毎年避難訓練を行っています。 ※令和6年9月21日 ※令和6年10月30日
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3			1		事故等が発生した場合、速やかに保護者へ連絡、説明をし、必要と判断した場合は、医療機関への搬送も行うよう努めています。
満足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	4					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4					
	29	事業所の支援に満足していますか。	4					

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童通所支援センタークオレ文京台		
○保護者評価実施期間	2024年10月25 日		～ 2024年11月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和6年11月8日		～ 令和6年11月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の配置が多い為、お子さんに対しきめ細かい支援を行うことが出来ます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に外出時の支援は危険を伴うことが多いので、マンツーマン対応やお子さん二人に対し職員を一名程度の配置にし、安全に活動出来る環境を整えています。</li> <li>・お子さんの困り感や、気持ちを適時に察することが出来るよう、多くの職員が活動中の一人ひとりに気を配り気持ちに寄り添うよう意識しています。</li> </ul>	さらに目細かく柔軟な支援が出来るよう、会議等で一人一人のお子さんの「できる」を職員間で確認周知し、個別課題や活動内容をお子さんの個性に合わせ、お子さん一人ひとりに職員が丁寧に関わられるよう取り組んでいます。
2	個別課題をその子、その子に合わせて実施しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の会議で課題の充実を図っています。</li> <li>・取り組み方や進め方をレジメにして関わり方を統一しています。</li> </ul>	課題を取り組む際機配置などもっと考慮し、集中しやすい環境を提供したいと考えております。
3	製作ばかりではなく、粗大運動や音楽療育も活動に取り入れバランスの取れた療育を提供している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を楽しみながら、能動的に自然に身体を動かすのを心掛けて活動しています。</li> <li>・遊びの一環として難しい動きをせず楽しめる活動をしている。</li> </ul>	お子さんが自由に取組むあまり活動の邪魔をしてしまい、活動が進まない時があるため、楽しむためにはルールがあるということを強制感がないように声掛けするように心掛けています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	駐車場から玄関まで移動距離が長い。	駐車場と玄関の間までにコンビニの駐車場を横切らなければならず、また事業所の2階までは踊り場のない18段の階段があり、車との接触や階段からの転落などの事故につながりやすい要因がある。	車両から施設の出入り口まで職員が利用児の安全面を配慮しながら付き添い、必要に応じて利用児と手をつなぎ送迎をする。利用児が複数いる場合には職員が2人以上の複数人体制で送迎をする。
2	事業所の構造上、死角が多く発生する。	大ホール、課題部屋、スヌーズレン、機材庫、事務所、廊下、給湯室、トイレと、部屋数が多く、死角が多く発生しやすい要因がある。	職員を多く配置し、常にお子さんの居場所を確認、ホールや課題部屋から移動する際は、職員が一人付き添い、見守る等の対応をする。
3			

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童通所支援センタークオレ文京台					公表日	令和7年1月20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用定員に対し、基準を満たして運営しております。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用の人数や活動の状況に応じて、職員4~6人を配置しています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		見通しを持って活動が出来るような構造化をしています。また、活動によって部屋の使い分けをしています。	階段などもあり、バリアフリーが難しい現状がありますが、出来る限り工夫し活動環境をととのえるよう改善します。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		空間除菌や消毒を行っています。また、動きのある活動や静かに過ごす部屋など、状況に合わせて活動しやすい環境を整えています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		活動状況や子供同士の関わりを把握し、必要に応じて個室を利用しています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		全職員参加の会議にて話し合う機会を設けています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		1年ごとに調査を行い、業務や療育内容の改善に繋げています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月職員が参加する会議を開催し、意見交換を活発にしています。また、その内容は業務改善につなげています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による評価は行っておりません。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修やweb研修システムを導入し、研修の機会を確保しています。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成、プログラムに沿った活動内容は連絡帳等を通じ保護者へお伝えしています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		社内で統一したアセスメントツールを使用し、それをもとにニーズや課題を職員同士で共有、意見を交換しながら個別支援計画を作成しています。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画は、様々な職員と情報を共有、検討しながら作成しています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		ひとりひとりの計画に基づいて療育を進めています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		契約時、また定期的にフェイスシートを記入していただき、フォーマル、インフォーマルの適応行動の把握に努めています。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインの項目をもとに、一人ひとりに必要な支援を個別支援会議を通じて設定しています。さらに具体的な活動内容を「個別課題」「集団活動」に分けて設定しています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員会議で全職員からの意見を取り入れながら活動内容を検討しています。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		固定化しないよう、成長に合わせて活動内容を都度検討しています。			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		必要に応じ個別支援と集団支援を組み合わせた活動計画を作成しています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前は、その日行われる活動内容を全員で把握し、役割分担の確認を行っています。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎サービスの時間の関係上全員が参加できないこともありますが、日報や記録を用いて支援の振り返りを共有しています。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日支援記録を記載し、会議等のミーティングの場で改善に繋げていくツールとして活用しています。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		個別支援計画書の作成の際、ご家庭の様子の聞き取りや事業所での活動の様子をもとに支援の見直しの必要性を判断しています。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		出来る限り児童発達管理責任者や常勤職員が参加するように努めています。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて公的機関とのやり取りをしています。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		他事業所等と個別支援計画書の供覧などをして連携をしています。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて進学をするお子さんに対し、担任の先生と電話や相談室等を通じて理解を図っています。		
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			江別市子ども部会に参加することで連携を図り、研修や助言を受けています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			保育所や幼稚園等の交流実績はありませんが、見学のご希望には随時対応いたします。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			送迎時や連絡帳などを通じ、日頃の活動状況をお伝えしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			必要に応じ対応して、面談の際に家族支援や情報提供等を行っています。		
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約時にパンフレットや資料を提示しご説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			支援計画書を作成する際、ご家庭の様子の聞き取りアンケートに記入していただき、保護者様のニーズを汲み取りながら計画書の作成を行っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			個別支援計画作成後は、ご家庭へ訪問し個別支援計画を示しながら説明を行っています。その際同意も得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			ご家族からの悩みや相談がありましたら、電話や面談等を設定し、必要な助言を行っています。	

護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	保護者等の交流会を実施したことはありません。	保護者会のニーズが多数あれば検討します。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	相談や申し入れがあった際は対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	定期的にInstagramやクオレだよりを発行し活動内容や情報をお知らせしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	契約時に個人情報の取扱いについてご説明し、扱いに関しては留意しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	一人ひとりの特性に合った情報伝達の配慮をしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	地域住民を招待する実績はありませんが、見学のご希望には随時対応いたします。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	契約時に防災マップや避難場所の地図をお渡ししています。また、防犯マニュアルや感染症時の対応を、資料をもとにご説明しお渡ししています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	定期的に避難訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	契約時にアレルギーの有無を確認、緊急時の医療機関や対応を確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	食物アレルギーの有無を契約時に確認、スタッフ間で周知しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画を作成、研修等会議で会議の中で行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	契約時に安全に関わる計画資料を提示しご説明しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハットの事象が発生した際には職員間で共有し、事象の検証をしています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	虐待防止委員会の設置や、虐待防止の研修をおこなっています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	身体拘束は行っておりません。身体拘束を行わずに支援する方法を検討する体制をとっています。		

	公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
--	----	-------------------

事業所名	児童通所支援センター クオレ文京台	公表日	2025年1月20日
		利用児童数	22人
		回収数	11

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	10	1				
	2	6	2		3	・何人いらっしゃるのかわからないです ・今までで1番先生の数が多いように思います	配置基準は10名に対し4人ですが、基準に加え1~2人多く配置しております。
	3	7	4				お子さんが安心して活動出来るよう環境づくりに努めます。
	4	8	3				活動空間は毎日清掃し、消毒等に努めております。また、活動に合わせて部屋を変える等の対応をしています。
適切な支援の提供	5	8	1	1	1		ご家庭や事業所の活動の様子等、現在必要な教育を全職員参加でカンファレンスし、それぞれの専門性をいかした支援に繋げていくよう努めます。
	6	10	1				
	7	10		1			
	8	11					
	9	11					
	10	7	4				
	11	2	3	2	4		児童館等の交流活動の実績はありません。
保護者への説明等	12	10		1			
	13	9	1	1			ペアレントトレーニングは実施していませんが、ご相談やご希望があれば都度対応いたします。
	14	2	2	4	3		必要に応じて対応しています。
	15	10		1			
	16	5	3	2	1		定期的な保護者面談は行っていませんが、連絡帳や送迎時にご相談があれば都度対応しています。
	17	9	1		1		お子さんの話に耳を傾け、気持ちに寄り添いながら活動するよう努めています。
	18	1	1	6	3		現在父母の会や交流会は行っていません。ニーズに応じて検討いたします。
	19	7	2	1	1		保護者からの相談や面談のご希望があれば、都度面談を設けて対応しています。
	20	10	1				
	21	6	2		3	いつも送迎の時に丁寧に説明していただいても通信やSNSではありませんし今のままでいいと思います	
22	9				2		個人情報には鍵付きのロッカーに保管し、取り扱っています。また、契約時に個人情報の取り扱いについて説明、同意を得ています。
非常時等の対応	23	7	1		3		契約時に緊急対応マニュアルを書面にて説明、お渡ししています。また、定期的に避難訓練や消防署の指導を受けています。
	24	4	1	1	5		毎年避難訓練を行っています。 ※令和6年9月21日 ※令和6年10月30日
	25	7			4		契約時に緊急対応マニュアルを書面にて説明、お渡ししています。また、定期的に避難訓練や消防署の指導を受けています。
	26	8			3		事故等が発生した場合、速やかに保護者へ連絡、説明をし、必要と判断した場合は、医療機関への搬送も行うよう努めています。
満足度	27	10	1				
	28	9	2				
	29	9	2				

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	児童通所支援センター クオレ文京台		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 25日		～ 2024年 11月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2024年 10月 25日		～ 2024年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児に対し職員の配置が多いため、きめ細やかな支援を行うことができます。	個別課題ではマンツーマンで支援を行ったり、一人遊びや小集団での遊びにも職員がついて手厚く支援をしています。また、公園遊びや外出行事ではお子さん一人ずつに担当職員を決め、安心安全に活動に参加できるようにしています。	職員の配置に関しては、現状のままで充実していると考えております。
2	集団活動では「遊び会議」を実施し、それぞれの希望する遊びの意見表出や話し合いの機会を設けています。	一人ひとりが意見表出できるように、また他者の気持ちや考えを聞くことができるよう、職員が会議の進行に工夫をしています。意見が分かれた時などは「今日できなかった遊びは来週にしよう」等おさんが気持ちに折り合いをつけていけるようにしています。	毎回3種類ほどの遊びを行っていますが、中には「その遊びには参加したくない」というおさんもいます。参加しない自由を認めつつ、見学をして待つ、タイムキーパーや審判として参加する、などその子なりの参加の仕方を工夫していきたいと考えています。
3	活動に応じて静と動をお部屋で使い分けています。	ボールを使った遊びや鬼ごっこなど粗大運動のできるホールと、宿題や課題、製作活動のできる小部屋があります。また、一人で落ち着きたいお子さんのためにはスヌーズレンもあります。	部屋の広さや数などは充実していると考えています。怪我のないよう、棚やマット、机の配置などには今後も注意を払っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	駐車場から玄関まで移動距離が長い。	駐車場と玄関の間までにコンビニの駐車場を横切らなければならず、また事業所の2階までは踊り場のない18段の階段があり、車との接触や階段からの転落などの事故につながりやすい要因がある。	車両から施設の出入り口まで職員が利用児の安全面を配慮しながら付き添い、必要に応じて利用児と手をつなぎ送迎をする。利用児が複数いる場合には職員が2人以上の複数人体制で送迎をする。
2	事業所の構造上、死角が多く発生する。	大ホール、課題部屋、スヌーズレン、機材庫、事務所、廊下、給湯室、トイレと、部屋数が多く、死角が多く発生しやすい要因がある。	職員を多く配置し、常にお子さんの居場所を確認、ホールや課題部屋から移動する際は、職員が一人付き添い、見守る等の対応をする。
3			

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童通所支援センタークオレ文京台			公表日	令和7年1月20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		○		利用の人数や活動の状況に応じて、職員4~6人を配置しています。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		見通しを持って活動が出来るような構造化をしています。また、活動によって部屋の使い分けをしています。	階段などもあり、バリアフリーが難しい現状がありますが、出来る限り工夫し活動環境をととのえるよう改善します。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		空間除菌や消毒を行っています。また、動きのある活動や静かに過ごす部屋など、状況に合わせて活動しやすい環境を整えています。	活動状況や子供同士の関わりを把握し、必要に応じて個室を利用しています。
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		活動状況や子供同士の関わりを把握し、必要に応じて個室を利用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		全職員参加の会議にて話し合う機会を設けています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		1年ごとに調査を行い、業務や療育内容の改善に繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月職員が参加する会議を開催し、意見交換を活発にしています。また、その内容は業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による評価は行っておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修やweb研修システムを導入し、研修の機会を確保しています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成、プログラムに沿った活動内容は連絡帳等を通じ保護者へお伝えしています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		社内で統一したアセスメントツールを使用し、それをもとにニーズや課題を職員同士で共有、意見を交換しながら個別支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画は、様々な職員と情報を共有、検討しながら作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		ひとりひとりの計画に基づいて療育を進めています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		契約時、また定期的にフェイスシートを記入していただき、フォーマル、インフォーマルの適応行動の把握に努めています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインの項目をもとに、一人ひとりに必要な支援を個別支援会議を通じて設定しています。さらに具体的な活動内容を「個別課題」「集団活動」に分けて設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員会議で全職員からの意見を取り入れながら活動内容を検討しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		固定化しないよう、成長に合わせて活動内容を都度検討しています	



供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		必要に応じ個別支援と集団支援を組み合わせた活動計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前は、その日行われる活動内容を全員で把握し、役割分担の確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎サービスの時間の関係上全員が参加できないこともありますが、日報や記録を用いて支援の振り返りを共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日支援記録を記載し、会議等のミーティングの場で改善に繋げていくツールとして活用しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		個別支援計画書の作成の際、ご家庭の様子の聞き取りや事業所での活動の様子をもとに支援の見直しの必要性を判断しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		①自立支援と日常生活の充実のための活動②創作活動③地域交流の機会の提供④余暇の提供を組み合わせて支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		集団活動の内容を決めるために「遊び会議」を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		出来る限り児童発達管理責任者や常勤職員が参加するように努めています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて公的機関とのやり取りをしています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		個別支援計画書を配布したり、学校のお迎え時にどんな様子だったか担当の職員から引継ぎしてもらっています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		お子さんの個別支援計画を配布し、情報を共有したり、送迎時に活動の報告をしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		利用が小学6年生までなので、障害福祉サービスへの移行実績はありませんが、今後そのような状況があれば、保護者の同意のもと情報の提供をします。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		江別市子ども部会に参加することで連携を図り、研修や助言を受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		このような機会は設けておりません。	児童館や学童クラブでの交流は行っておりませんが、公園遊びを通じて、地域とのお子さんとの関わる機会があります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		江別市子ども部会に参加、連携を図っています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や連絡帳などを通じ、日頃の活動状況をお伝えしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		必要に応じ対応して、面談の際に家族支援や情報提供等を行っています。	
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にパンフレットや資料を提示しご説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画書を作成する際、ご家庭の様子の聞き取りアンケートに記入していただき、保護者様のニーズを汲み取りながら計画書の作成を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画作成後は、ご家庭へ訪問し個別支援計画を示しながら説明を行っています。その際同意も得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご家族からの悩みや相談がありましたら、電話や面談等を設定し、必要な助言を行っています。	

護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者等の交流会を実施したことはありません。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申し入れがあった際は対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的にInstagramやクオレだよりを発行し活動内容や情報をお知らせしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約時に個人情報の取扱いについてご説明し、扱いに関しては留意しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		一人ひとりの特性に合った情報伝達の配慮をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域住民を招待する実績はありませんが、見学のご希望には随時対応いたします。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		契約時に防災マップや避難場所の地図をお渡ししています。また、防犯マニュアルや感染症時の対応を、資料をもとにご説明しお渡ししています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に避難訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時に、既往歴や現在治療中の疾病等を確認しています。また、定期的に調査票を配布し、子供の身体の状況を確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時にアレルギーの有無を確認、緊急時の医療機関や対応を確認しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成、研修等会議で会議の中で行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に安全に関わる計画資料を提示しご説明しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの事象が発生した際には職員間で共有し、事象の検証をしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会の設置や、虐待防止の研修をおこなっています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束は行っておりません。身体拘束を行わずに支援する方法を検討する体制をとっています。		